

MUJI 無印良品

保存用

スタッキングシェルフセット・5段×2列・オーク材

スタッキングシェルフセット・3段×2列・オーク材

スタッキングシェルフセット・5段×2列・ウォールナット材

スタッキングシェルフセット・3段×2列・ウォールナット材

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。

また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ(安全上のご注意)	2 ~ 4
パーツリスト	4 ~ 5
各部の名称	6
組立方法	7 ~ 10
転倒防止用補助金具の取付け方法	11 ~ 14
ご使用方法	14 ~ 15
ご使用に際して	15 ~ 16
お手入れ方法	16
製品仕様	17
お問い合わせ先	17

重要なお知らせ(安全上のご注意)

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり記載事項をお守りください

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害(※2)を負うことや物的損害(※3)が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは治療や入院や長期通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。



警告



禁止

- お子さまが商品にぶら下がったり、登ったりさせないでください。商品の転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
- 商品の上に立ったり、腰かけたり、踏み台代わりに使用したりしないでください。商品の転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
- 上部のみに片寄って収納しないでください。バランスを崩し不安定になりやすく、商品が転倒してケガをするおそれがあります。
- 上部に重たいものは置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをすることがあります。
- 商品の近くでストーブなどの暖房器具を使用しないでください。引火して火災の原因となります。
- 商品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となります。
- 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用しますと、ケガをするおそれがあります。
- スチールパイプや側板などのパーツを抜いて組み立てないでください。強度不足により破損、変形しケガをする原因となります。
- 別売りの追加セットをヨコ置きで連結して使用する場合は、5段を超える高さに積み重ねないでください。商品の転倒や破損によりケガをする原因となります。
- ボルトやフェルト、木ネジ、樹脂ピン、細ピン、樹脂ピン用キャップなどの小さい部品は、お子様の手の届くところに置かないでください。誤飲や窒息のおそれがあります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。

【付属の転倒防止用補助金具について】

- 耐震用の固定用金具として利用しないでください。地震などによる振動や、商品に寄り掛かるなど、過度の負荷が掛かった場合、金具が外れて商品が転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 付属の転倒防止用補助金具や木ネジ・樹脂ピン・細ピンは、破損や変形した状態で使用しないでください。強度が弱まり商品が転倒し、ケガをする原因となります。

重要なお知らせ(安全上のご注意)

必ずお守りください。(つづき)

警告



- AV機器を置く場合は、そのAV機器の取扱説明書をよく読み正しく設置してください。また、十分に隙間をあけて通気性をよくしてご使用ください。電気製品の故障や火災の原因となります。
 - 建物の壁や天井、床などに耐震用の固定用金具や固定部材でしっかりと商品を固定してください。地震による振動で過度の負荷が掛かった場合、商品の転倒により、ケガの原因となります。
- 【付属の転倒防止用補助金具について】
- 付属の転倒防止用補助金具は、収納物の出し入れなど通常使用での商品の揺れや、ゆがみを抑えるための補助パーツです。4段以上の高さで設置する場合は必ず取り付けてください。取り付けない状態で使用すると、使用中に商品が転倒しケガをする原因となります。
 - 取り付ける壁面が、商品をしっかりと固定出来る住宅の構造(内装材や梁など)であることを確認したうえで、商品を設置してください。誤った位置に固定すると十分な強度が得られず、商品が転倒しケガをする原因となります。
 - 商品と壁に固定したネジや細ピンや樹脂ピンは、根元まで確実に取り付けたことを確認し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい振動や揺れや衝撃が加わった後にも必ず確認してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、商品や転倒防止用補助金具の設置位置を変えて、取り付けてください。ゆるんだまま使用すると、金具が外れる事による過度の商品の揺れや、ゆがみが発生するだけでなく、転倒し商品の破損や思わぬケガをする原因となります。

注意



- 組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分が外れてケガの原因になることがあります。
- 移動する際は、引きずらないでください。商品の破損、床面へのキズの原因となります。
- 本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。
- 耐荷重を超えて物を載せたり、耐荷重内でも一部に片寄って載せたりしないでください。変形や破損によりケガをするおそれがあります。
- 修理および改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。
- 天板や棚の一部に集中した荷重を加えないでください。破損、変形等の原因となります。
- 屋外では使用しないでください。変形や劣化により、ケガをする原因となります。



- 使い始めるときは、室内の換気を十分にしてください。ホルムアルデヒド放散量の少ない木材を使用しておりますが、ホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に過敏な体質な方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。
- 組み立ての際は、組み立てに必要なスペースを確保し、敷物などを敷いて床や既存の家具にキズがつかない様に注意してください。
- 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。
- 組立や設置の際には指や手をはさまないようにご注意ください。
- 移動させる際は、収納物を取り除いてから、2人以上で移動させてください。1人でひきずったりするなど無理に移動させると、ケガや商品を破損する原因となります。
- 引っ越しや部屋や階をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。スチールパイプの接合部にゆるみが生じて商品が破損し、ケガをするおそれがあります。
- ボルトやスチールパイプの取付け状態にゆるみがないか定期的に点検し、ゆるんでいる場合は締め直してください。ゆるんだまま使用すると破損、ケガの原因となります。

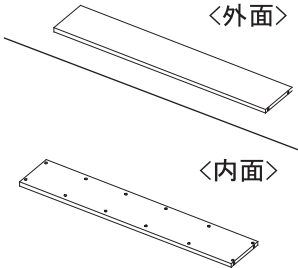
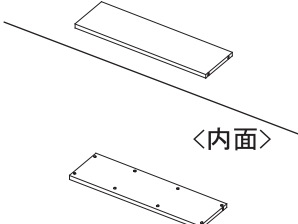
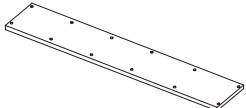
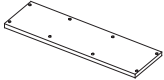
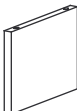
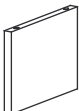
お願い(その他注意)

- 高温(目安: 35℃以上)や乾燥した場所(目安: 湿度30%以下)で長期間設置はしないでください。製品の反りやゆがみ、割れなどが生じる原因になります。
- 商品に直接熱いものや濡れたものを置かないでください。反りやゆがみ、割れ、変形などの原因になります。
- 直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの冷暖房器具の熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色の原因になります。
- 商品の上にビニール製品を長時間置かないでください。変色したり塗装がはがれる原因となります。
- お手入れの際は、シンナーなどの有機溶剤を含んだ布で拭かないでください。変色や変形の原因となります。
- 平坦で安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品がゆがんだり、破損の原因になることがあります。
- 暖房器具を使用する場合は室内温湿度は適正に保つようにしてください。冬場などの暖房器具による室内の極端な乾燥は、天然木材の割れや反りの原因となります。
- 開封後の梱包材は、自治体のルールに従い、処分してください。

パーツリスト

オーク材ウォールナット材共通

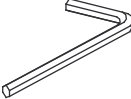
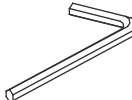
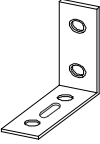
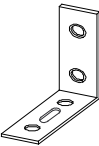
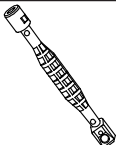
※各リストはオーク材、ウォールナット材ともに共通です。

パーツ名	セット種類	5段 × 2列	3段 × 2列
① 側板 (穴非貫通タイプ)		 <外面> <内面> x 1	 <外面> <内面> x 1
② 側板 (穴貫通タイプ)		※穴が貫通しています  x 2	※穴が貫通しています  x 2
③ 仕切板		 x 12	 x 8

パーツリスト (つづき)

オーク材 ウォールナット材 共通

※各リストはオーク材、ウォールナット材ともに共通です。

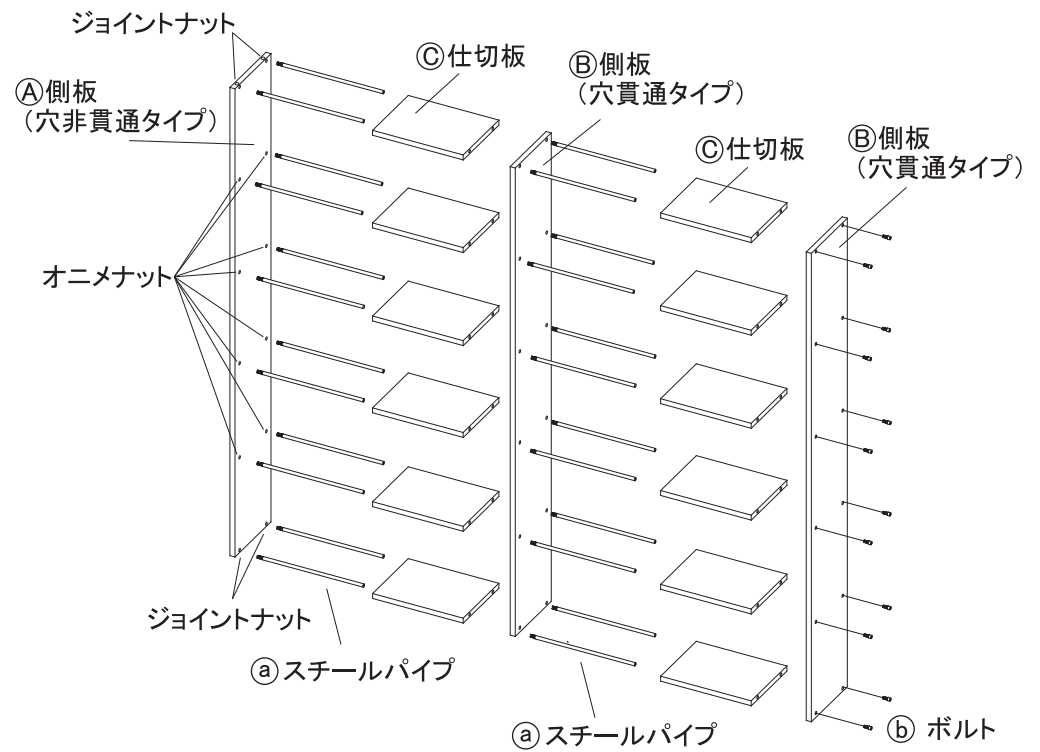
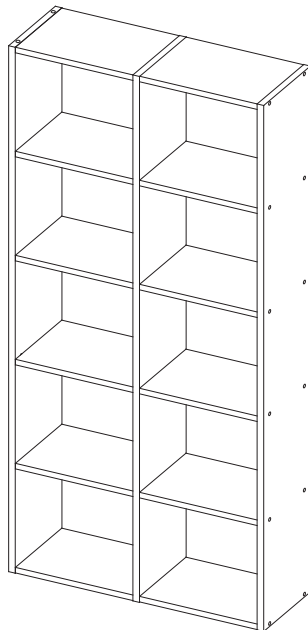
フィッティングパーツ		
パーツ名	セット種類	
	5段 × 2列	3段 × 2列
① スチールパイプ	 x 24	 x 16
② ボルト	 x 12	 x 8
③ フェルト	 x 8	 x 6
④ 六角レンチ (4mm)	 x 2	 x 2
⑤ 突板シール	 x 16	 x 10
⑥ 転倒防止用 補助金具	 x 2	 x 2
⑦ 木ネジ ※	 x 8	 x 8
⑧ 樹脂ピン	 x 4	 x 4
⑨ 細ピン (予備2本含む)	 x 10	 x 10
⑩ 樹脂ピン用 キャップ	 x 4	 x 4
⑪ ピン押し具	 x 1	 x 1

※ ⑦ 木ネジを締める際は市販のプラスドライバーをご用意ください。

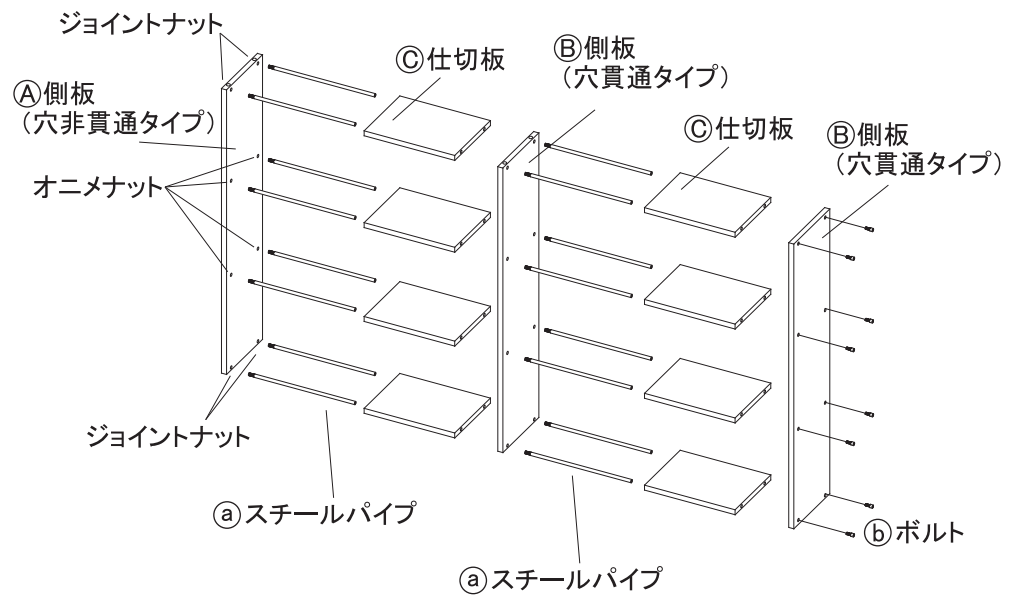
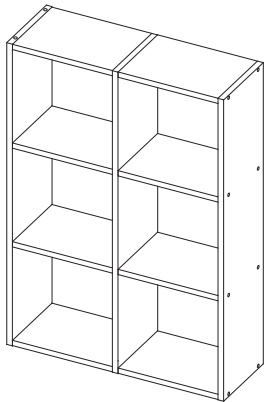
各部の名称

オーク材 ウォールナット材 共通

5段×2列



3段×2列



組立方法

5段×2列

3段×2列

共通

オーク材

ウォールナット材

共通

※組立方法はオーク材、ウォールナット材ともに共通です。

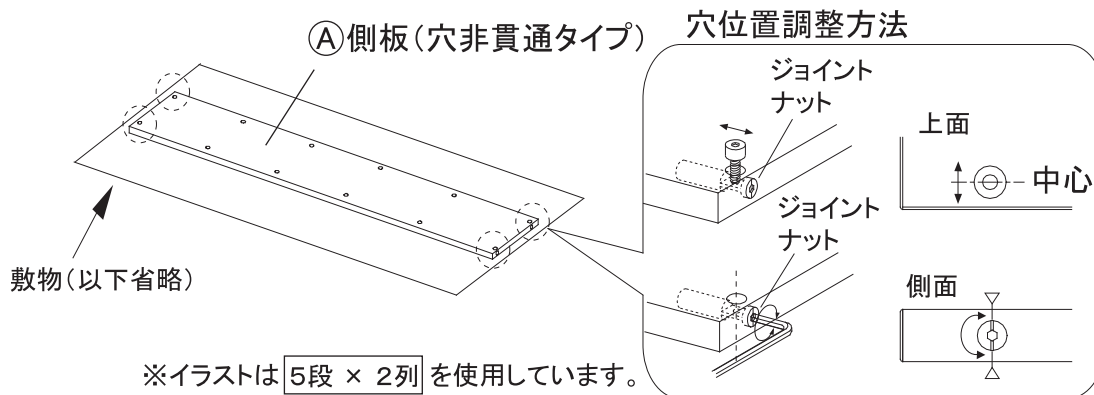
※ 5段×2列 3段×2列 すべての組立方法は同じですが、部品の数異なりますのでご注意ください。



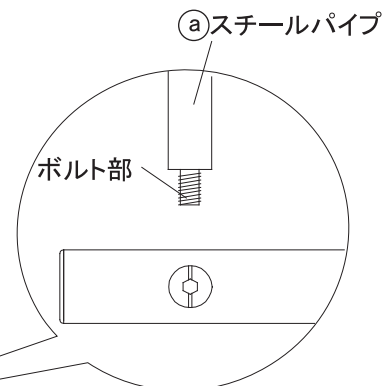
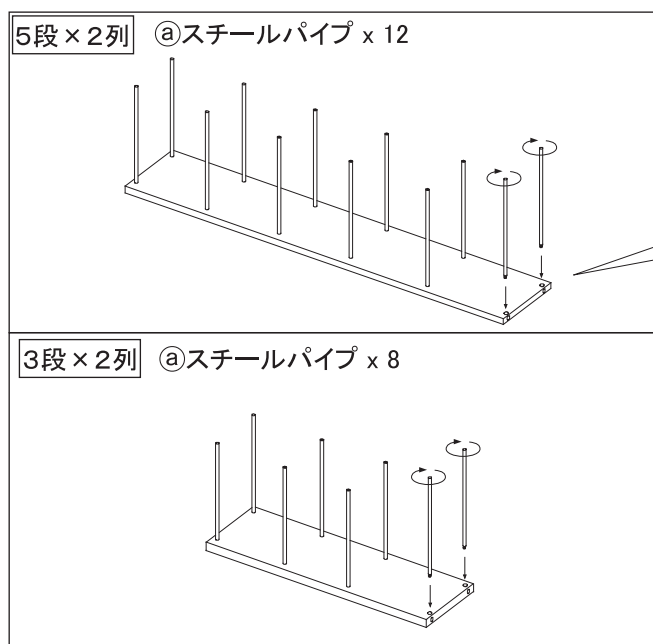
注意

- 組み立ては必ず2人以上でおこなってください。
1人では部品を保持できずに組み立てしづらい部分があり、部品の落下による破損やケガをするおそれがあります。
- 組み立てには付属の六角レンチを使い、電動工具は使用しないでください。
電動工具による過度の締め付けなどで製品を破壊する可能性があります。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたらボルトを締め直してください。
使いはじめはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損やケガの原因となります。

- 1 敷物などの上に①側板(穴非貫通タイプ)を裏返して置き、四隅のジョイントナットの穴が板の穴の中心になるように、図に従って調整してください。



- 2 ②a スチールパイプのボルト部分を①側板(穴非貫通タイプ)のすべての穴に取り付けます。



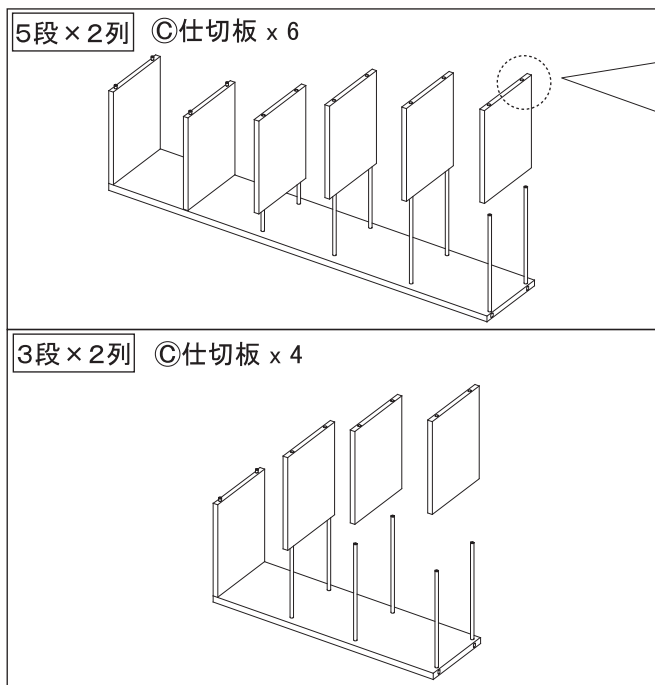
※スチールパイプのボルト部分を
下に向け回しながら取り付けます。



注意

スチールパイプの取付けは工具を使用せず
にゆるみが無い程度に締めつけてください。
工具を使って無理に締めつけると、破損
しケガをするおそれがあります。

3 ③仕切板を、取り付け済みのスチールパイプに通します。

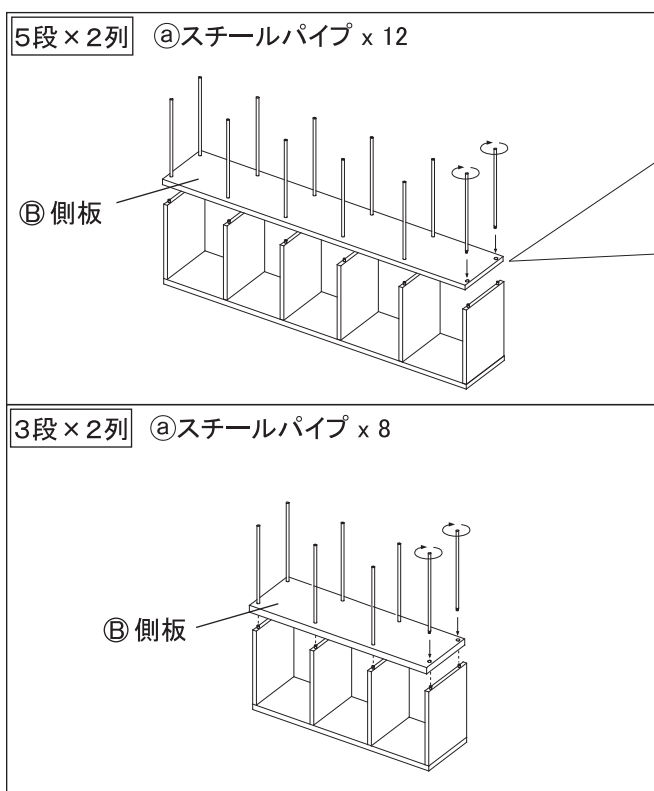


お願い (その他注意)

④六角レンチを使ってスチールパイプを探りながら通してください。
無理に押し込もうとすると、破損するおそれがあります。

※通すときに多少の木くずがこぼれる場合がありますが、ご使用には問題ありません。

4 ①②側板 (穴貫通タイプ) を穴とスチールパイプの位置を合わせて取り付けます。 ②③側板 (穴貫通タイプ) の穴へ ④スチールパイプを取り付けます。

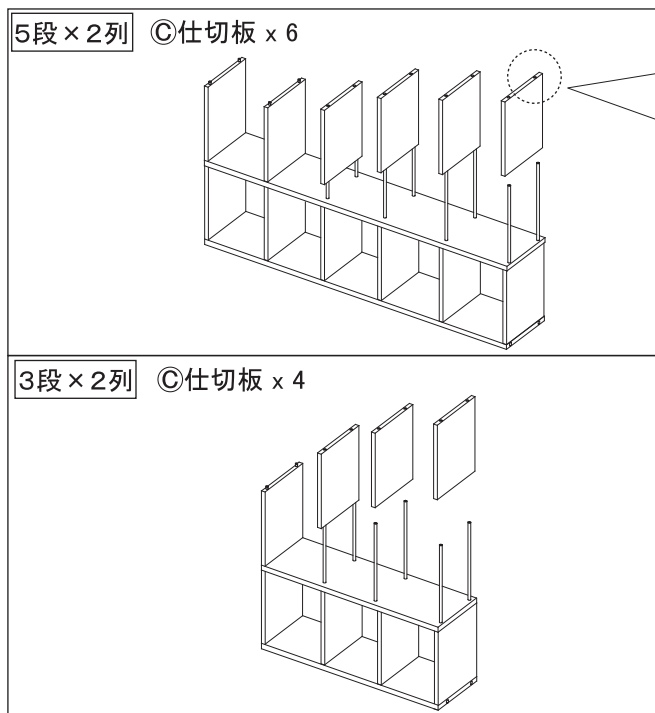


※スチールパイプのボルト部分を下に向け回しながら取り付けます。

⚠ 注意

スチールパイプの取付けは工具を使用せずにゆるみが無い程度に締めつけてください。
工具を使って無理に締めつけると、破損しケガをするおそれがあります。

5 ③仕切板を、取り付け済みのスチールパイプに通します。



お願い（その他注意）

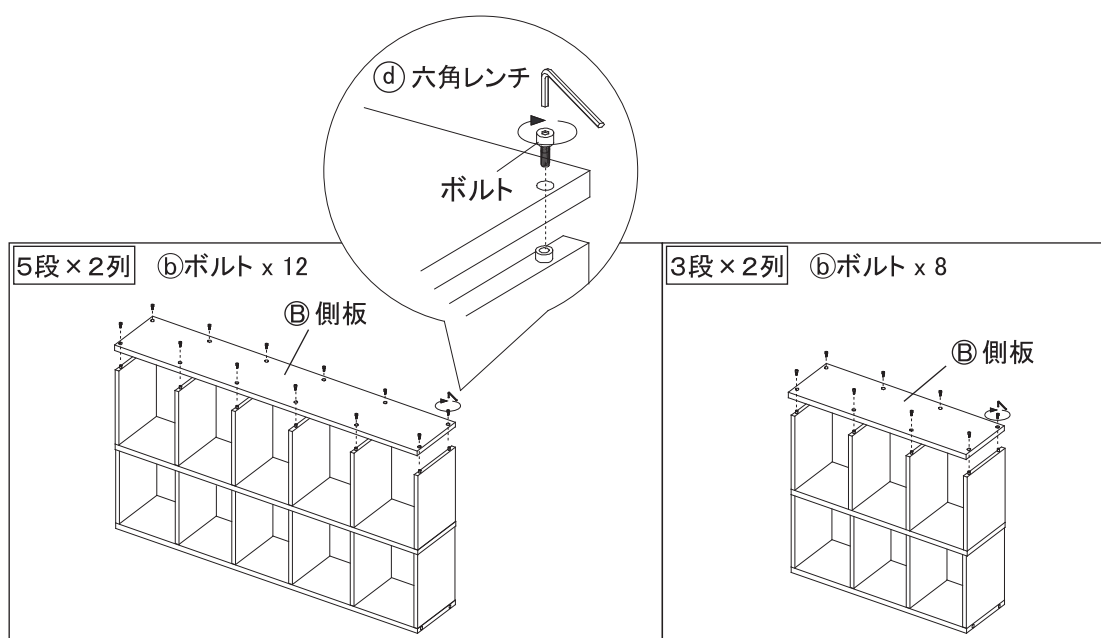
④ 六角レンチを使ってスチールパイプを探りながら通してください。
無理に押し込もうとすると、破損するおそれがあります。

※通すときに多少の木くずがこぼれる場合がありますが、ご使用には問題ありません。

追加セット（別売）を組み立てる場合

追加セット(別売)を連結して組み立てる場合は次の手順 **6** ②の**⑥**ボルトを取り付けずに別売の追加セット付属の「組立・取扱説明書」組立方法 手順 **2** をご確認ください。

6 ①⑧側板(穴貫通タイプ)を穴とスチールパイプの位置を合わせて取り付けます。 ②⑥ボルトを全ての穴に取り付けて、④ 六角レンチを使って締めつけます。

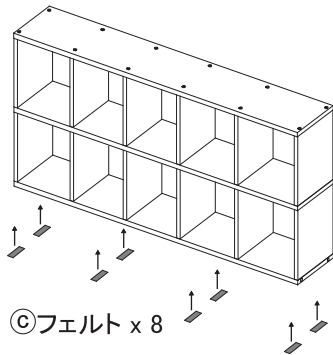


7 底になる面に、下図を参考にして㊸フェルトを貼ります。

※設置する場所の状況に応じて貼る枚数を調整してください。

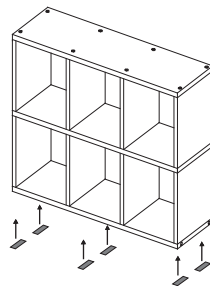
ヨコ置きにする場合

5段×2列



㊸フェルト x 8

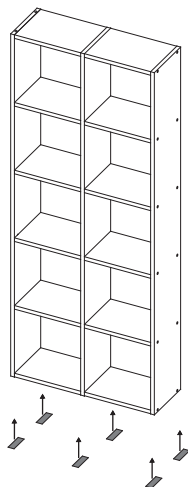
3段×2列



㊸フェルト x 6

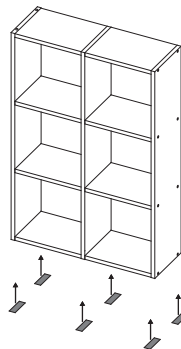
タテ置きにする場合

5段×2列



㊸フェルト x 6

3段×2列



㊸フェルト x 6

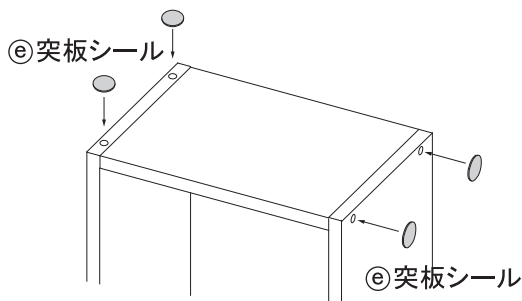


注意

- ㊸フェルトは床面を保護するために使用してください。
- 貼る前に貼る面のほこりなどの付着物をふき取ってください。付着物があると粘着力が低下します。
- 貼った後は全体をしっかりと指で押さえて、ムラなく貼ってください。

8 ボルト、ジョイントナットの見える部分に㊹突板シールを貼ります。

表面に見える金属面が気になる場合は、上から木目方向を合わせて貼ってください。



お願い
(その他)
注意

- ㊹突板シールは手順7組み立て後、1週間程度経過し、ボルトを締め直した後に貼ってください。突板シールをはがす際に表面の突板が割れるおそれがあります。
- 突板シールは天然木を使用していますので木目や色にばらつきがあります。

完成

転倒防止用補助金具の取付け方法



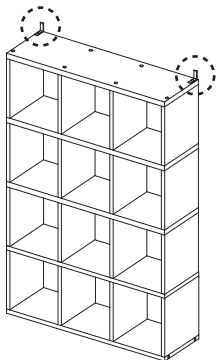
注意

● 高さ4段以上でご使用の場合は、必ず以下の手順に従って商品を壁にしっかりと固定してください。

● 収納物の出し入れなど、通常ご使用中の商品の揺れや、ゆがみを抑えるための補助パーツです。（耐震用ではありませんので、ご注意ください。）

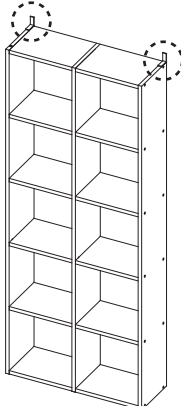
(取り付け例)

ヨコ置き 4段



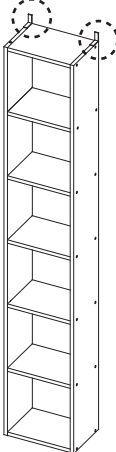
3段基本セット
+追加セット (x3)

タテ置き 5段

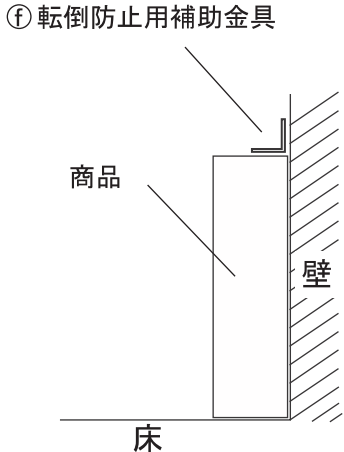


5段 × 2列

タテ置き 6段



オーダーモデル



※上図の様に商品を壁に合わせて設置して固定します。



警告



禁止

● 耐震用の固定用金具として利用しないでください。地震などによる振動や、商品に寄り掛かるなど、過度の負荷が掛かった場合、金具が外れて商品が転倒し、ケガをするおそれがあります。

● 付属の転倒防止用補助金具や木ネジ・樹脂ピン・細ピンは、破損や変形した状態で使用しないでください。強度が弱まり商品が転倒し、ケガをする原因となります。



行う

● 4段以上の高さで設置する場合は必ず取り付けてください。取り付けない状態で使用すると、使用中に商品が転倒し、ケガをする原因となります。

● 取り付ける壁面が、商品をしっかりと固定出来る住宅の構造(内装材や梁など)であることを確認したうえで、商品を設置してください。誤った位置に固定すると十分な強度が得られず、商品が転倒し、ケガをする原因となります。

● 商品と壁に固定したネジや細ピンや樹脂ピンは、根元まで確実に取り付けたことを確認し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい振動や揺れや衝撃が加わった後にも必ず確認してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、商品や転倒防止用補助金具の設置位置を変えて、取り付けてください。

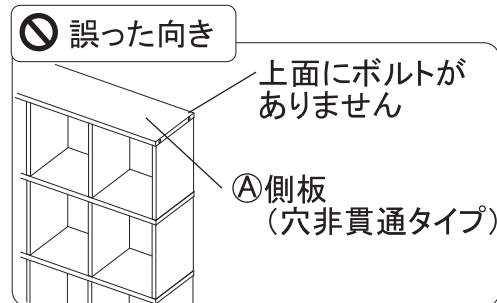
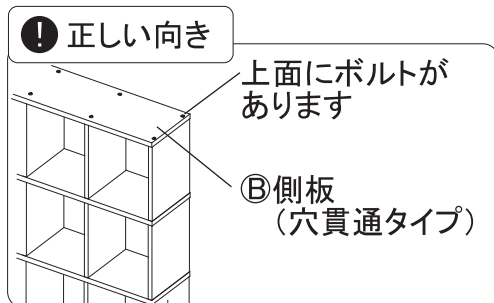
ゆるんだまま使用すると、金具が外れる事による過度の商品の揺れや、ゆがみが発生するだけでなく、転倒し商品の破損や思わぬケガをする原因となります。

転倒防止用補助金具の取付け方法 (つづき)

- 1** 本体を壁際の水平な位置に設置して①転倒防止用補助金具を取り付ける位置を確認します。ヨコ置きの場合は上下の向きに注意してください。

ヨコ置きの場合

- ②側板（穴貫通タイプ）ボルト取り付け側を上にして設置してください



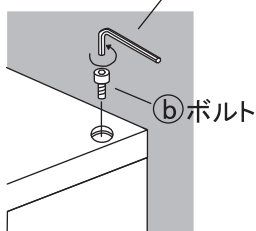
タテ置きの場合

どちらを上に向けてもかわりません。

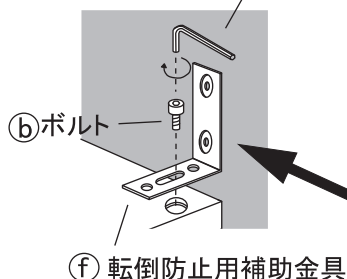
- 2** 転倒防止用補助金具と商品を固定します。

ヨコ置きの場合

- ①壁側の⑥ボルトを外します。
④六角レンチ



- ②①転倒防止用補助金具を、①で外した⑥ボルトで固定します。
④六角レンチ



お願い（その他注意）

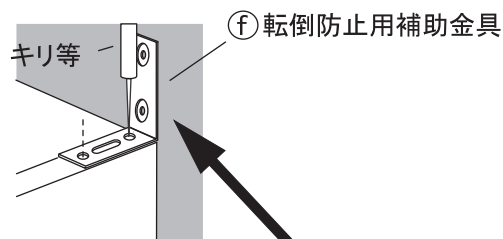
ボルトは金具が前後に動く程度に固定してください。
※手順3で壁に取付け後に位置を確認してからしっかりと締め直します。

⚠ 注意

壁との間に隙間を空けないでください。
固定が低下する原因となります。

タテ置きの場合

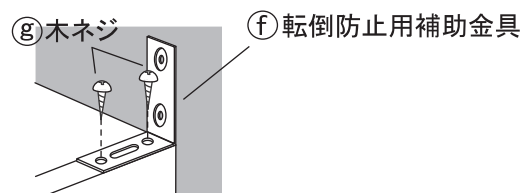
- ①①転倒防止用補助金具を商品に合わせて位置を確認したら前後の穴位置をマーキングし、その後キリ等を使って穴をあけてください。



⚠ 注意

壁との間に隙間を空けないでください。
固定が低下する原因となります。

- ②①であけた穴に⑧木ネジを締めつけて
①転倒防止用補助金具を固定します。



お願い（その他注意）

ボルトは金具が前後に動く程度に固定してください。
※手順3で壁に取付け後に位置を確認してからしっかりと締め直します。

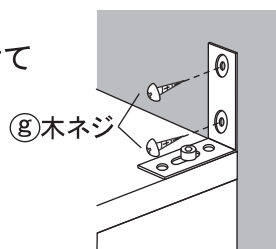
転倒防止用補助金具の取付け方法 (つづき)

- 3 ⑥転倒防止用補助金具を取り付けた商品を壁に固定します。
壁の材質を確認の上、下記のいずれかのパーツで取り付けてください。

A 木ネジで固定する ※木材に固定する場合に使用します。

- ⑧木ネジを使って、柱や壁の下地材（間柱）などの木ネジで取り付け可能な箇所に固定します。
※石こうボードの壁でも、壁の内側の間柱などの下地材を利用して木ネジで固定できる場合があります。取り付ける壁の状態をご確認ください。

転倒防止用補助金具を壁に押し付けて
⑧木ネジを使って壁に垂直にしっかりと締め付けて固定してください。



※イラストはヨコ置きの場合です。

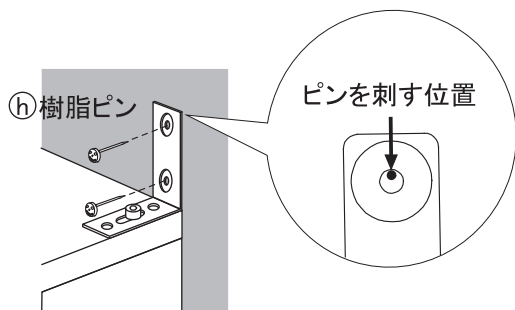
B 石こうボード壁用ピンで固定する ※石こうボード壁の場合に使用します。

石こうボード壁で、壁の内側の間柱や下地材への木ネジ固定が困難な場合は⑨樹脂ピンと⑩細ピンを使って壁と固定します。

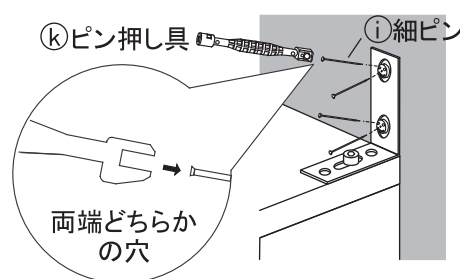
石こうボードとは？

- 現在の戸建て住宅やマンションでは浴室以外の多くの壁が不燃を目的とした石こうボードを使用しています。
- 石こうボードの見分け方
石こうボードの壁は表面がビニール素材のクロス張りが一般的です。画びょう等を刺して、抜いた時に白い粉がつくことを目安にしてください。

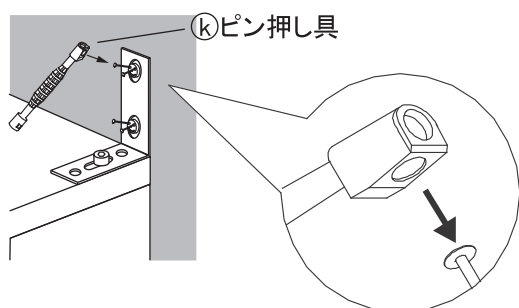
- ① ⑨樹脂ピンを貫通穴の内側に接する様にして壁に刺します。



- ② 一つの⑨樹脂ピンにつき2本の⑩細ピンを刺し込みます。
⑫ピン押し具の両端にある穴を使って⑩細ピンを壁面に刺してください。

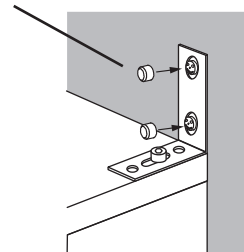


- ③ ②の手順だけでは⑩細ピンが最後まで刺せないで、更に⑫ピン押し具の平らな部分で最後までしっかりと刺して、金具を固定してください。



- ④ ⑪樹脂ピン用キャップを取り付けてください。

⑪樹脂ピン用キャップ



※イラストは全てヨコ置きの場合です。

転倒防止用補助金具の取付け方法 (つづき)

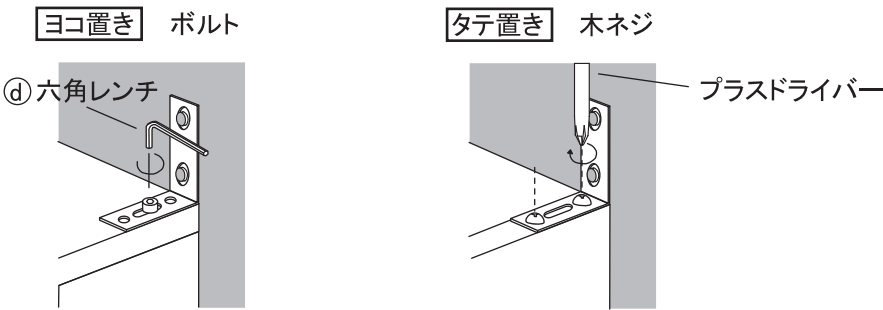
- ③ 市販のアンカーボルトや転倒防止器具を用いて固定する
※その他（コンクリート壁など）の場合

壁の状況に応じた、市販のボルト等を用いて固定してください。
転倒防止用補助金具の穴直径5mmに合う物が無い場合は転倒防止器具自体を市販の物で
ご対応ください。


警告

使用する市販のボルト等の固定具は壁の素材に適し、十分強度が得られるもの
をご使用ください。
強度が不足していると商品が転倒し、ケガをするおそれがあります。

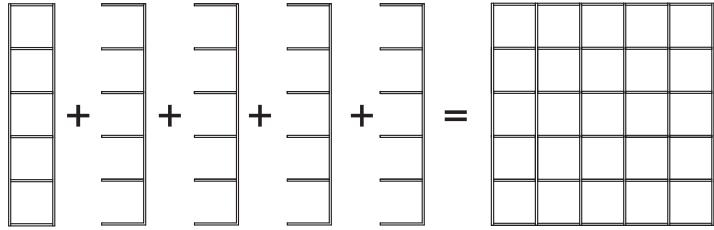
- 4 最後に、商品の位置を確認してボルトもしくは木ネジをしっかりと締め付けて、商品に
固定してください。



ご使用方法

スタッキングシェルフは、使い勝手に合わせて縦にも横にも広げられます。
以下の使用例と耐荷重の計算方法を参考にしてオリジナルの収納をお楽しみください（イラストは一例です）。
※別売りの追加セットとの組み合わせが必要です。

本体をタテ置きで横方向に連結していく組み合わせ方法

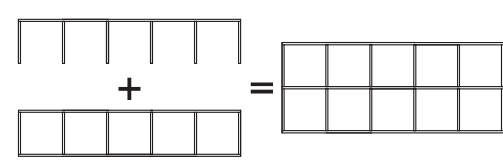


5段(基本セット)x1 + 追加5段(追加セット)x4
耐荷重: 全体約150kg (約60kg x 5本 ÷ 2)

耐荷重の考え方

組み合わせで使用する際の
全体耐荷重 = 棚全体の耐荷重 x 本数 ÷ 2

本体をヨコ置きで上へ連結していく組み合わせ方法



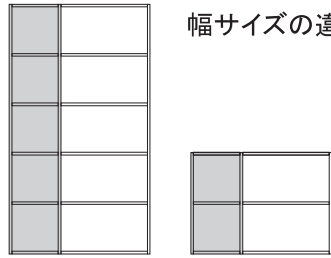
5段(基本セット)x1 + 追加5段(追加セット)x1
耐荷重: 全体約60kg (約60kg x 2本 ÷ 2)

耐荷重の考え方

組み合わせで使用する際の
全体耐荷重 = 棚全体の耐荷重 x 本数 ÷ 2

※積み重ねて5段まで使用できます。
※耐荷重は全体に均等な荷重を掛けた際の目安です。

幅サイズの違うアイテムを組み合わせる使う



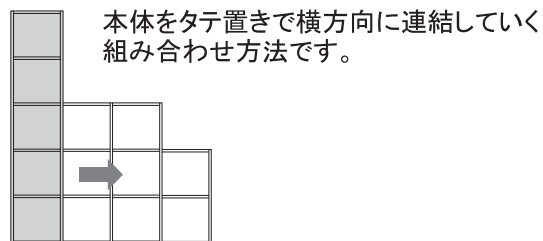
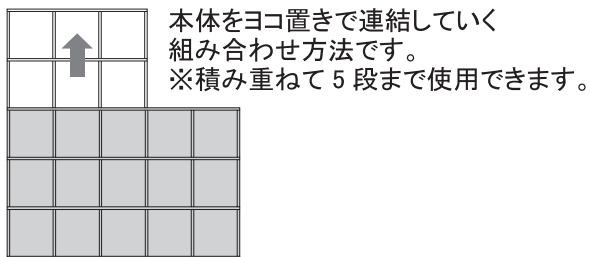
幅サイズの違うアイテムをタテ置きで横方向に連結していく組み合わせ方法です。


注意

「スタッキングシェルフ・ワイドタイプ」／「オープン型追加セット」
などの幅サイズの異なるアイテムと組み合わせた場合は、本体を
ヨコ置きで使用できません。

ご使用方法 (つづき)

段数違いで組み合わせて使う



基本セットよりも大きなサイズ(多い段数)の追加セットは連結できません。
強度が低下し、破損によりケガをする原因となります。



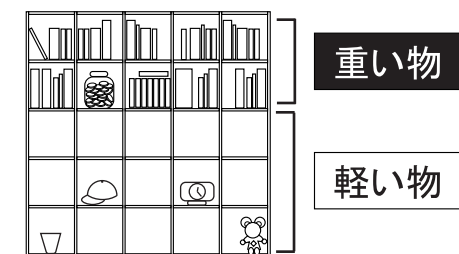
収納に関するご注意

- 上部のみに片寄って収納しないでください。バランスを崩し不安定になりやすく、商品が転倒してケガをするおそれがあります。
- 上部に重たいものは置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをすることがあります。



不安定になりやすい使い方

(例)



※イラストはレギュラータイプの5段(基本セット)+追加5段(追加セット)x4 を使用しています。

移動について

- 組み立てた状態で少し動かす場合

① 組み立て後の移動は、必ず収納物を取り除いてから、2人以上で左右から側板部分をしっかりと持って移動してください。

② 床面を引きずったり、押ししたりしないでください。床面のキズや破損の原因になることがあります。

- 引っ越しなどで運ぶ場合

引っ越しや部屋をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。
パーツが変形したりボルトがゆるんだりして、商品が破損しケガをするおそれがあります。

廃棄について

- 廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い処分してください。

ご使用に際して

天然木製品についてのおことわり

- 本製品は天然木(突板)を使用しているため、木目や色合い等、天然木特有の個体差があります。そのため、商品として木目や色調に差がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木(突板)は下記の条件により、割れや反りなどが発生することがありますのでご注意ください。
 - ① 直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。
どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
 - ② 冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限りお避けください。必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてご使用ください。
 - ③ 特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因になります。

ご使用に際して (つづき)

ホルムアルデヒドの対策について

●ホルムアルデヒドとは

ホルムアルデヒドは、シックハウス症候群の原因物質の一つと言われています。
常温で気化する無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建設資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。
少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。

●お部屋の換気をしてください



家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。
化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。
複数の家具を同時に設置した場合は、特に窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。
室内の湿度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。
換気効率をあげるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

●化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質は許容量に個人差があります。よって、室内濃度指針値(健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値)以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。
現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく発散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談ください。

●無印良品の家具は、梱包内にホルムアルデヒド吸着・分解シート※を入れて出荷しています。

(※ホルムアルデヒド吸着・分解シート:アイシン精機(株)との共同開発)

狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お手元に届くまでに少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるためにホルムアルデヒド吸着シート・分解シートを入れて

います。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着シート・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

以下の点について、定期的に点検をしてください。

- 破損変形した状態では使用しないでください。
- スチールパイプ、ボルト、及び転倒防止補助金具の取付け部にゆるみやグラツキがないかを点検してください。ゆるみやグラツキを発見した場合は、直ちに工具を使ってゆるみがなくなるまでしっかりと締め直してください。
- 点検により破損箇所を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。
そのままご使用を続けた場合、変形や転倒等で収納物の破損やケガをするおそれがあります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

汚れについて

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。かたい布でほこりのあるままでこすると細かなキズがついてかえって逆効果です。通常、やわらかい布での乾拭きで十分です。
- 汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。
- 化学雑巾を長時間、接触させておくと変色したり表面がはがれたりすることがありますのでご注意ください。

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

製品仕様

品名	スタッキングシェルフセット 5段×2列 オーク材	スタッキングシェルフセット 3段×2列 オーク材
製品寸法	幅 820 x 奥行 285 x 高さ 2000mm	幅 820 x 奥行 285 x 高さ 1210mm
製品質量	約 32Kg	約 21Kg
用途	収納家具（シェルフ）	
耐荷重	棚1枚当り	約 20Kg
	棚全体	約 60Kg
材質	側板、仕切板 : 天然木化粧繊維板（オーク材突板 フラッシュ構造） スチールパイプ : スチール 表面加工 : 木部 アクリル樹脂塗装 : スチールパイプ 粉体塗装	
原産国	インドネシア	

品名	スタッキングシェルフセット 5段×2列 ウォールナット材	スタッキングシェルフセット 3段×2列 ウォールナット材
製品寸法	幅 820 x 奥行 285 x 高さ 2000mm	幅 820 x 奥行 285 x 高さ 1210mm
製品質量	約 32Kg	約 21Kg
用途	収納家具（シェルフ）	
耐荷重	棚1枚当り	約 20Kg
	棚全体	約 60Kg
材質	側板、仕切板 : 天然木化粧繊維板（ウォールナット材突板 フラッシュ構造） スチールパイプ : スチール 表面加工 : 木部 アクリル樹脂塗装 : スチールパイプ 粉体塗装	
原産国	インドネシア	

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

〒170-8424

東京都豊島区東池袋4-26-3

お客様室でんわ



0120-14-6404

受付時間 ■ 平日 10:00～21:00

■ 土・日・祝 10:00～18:00